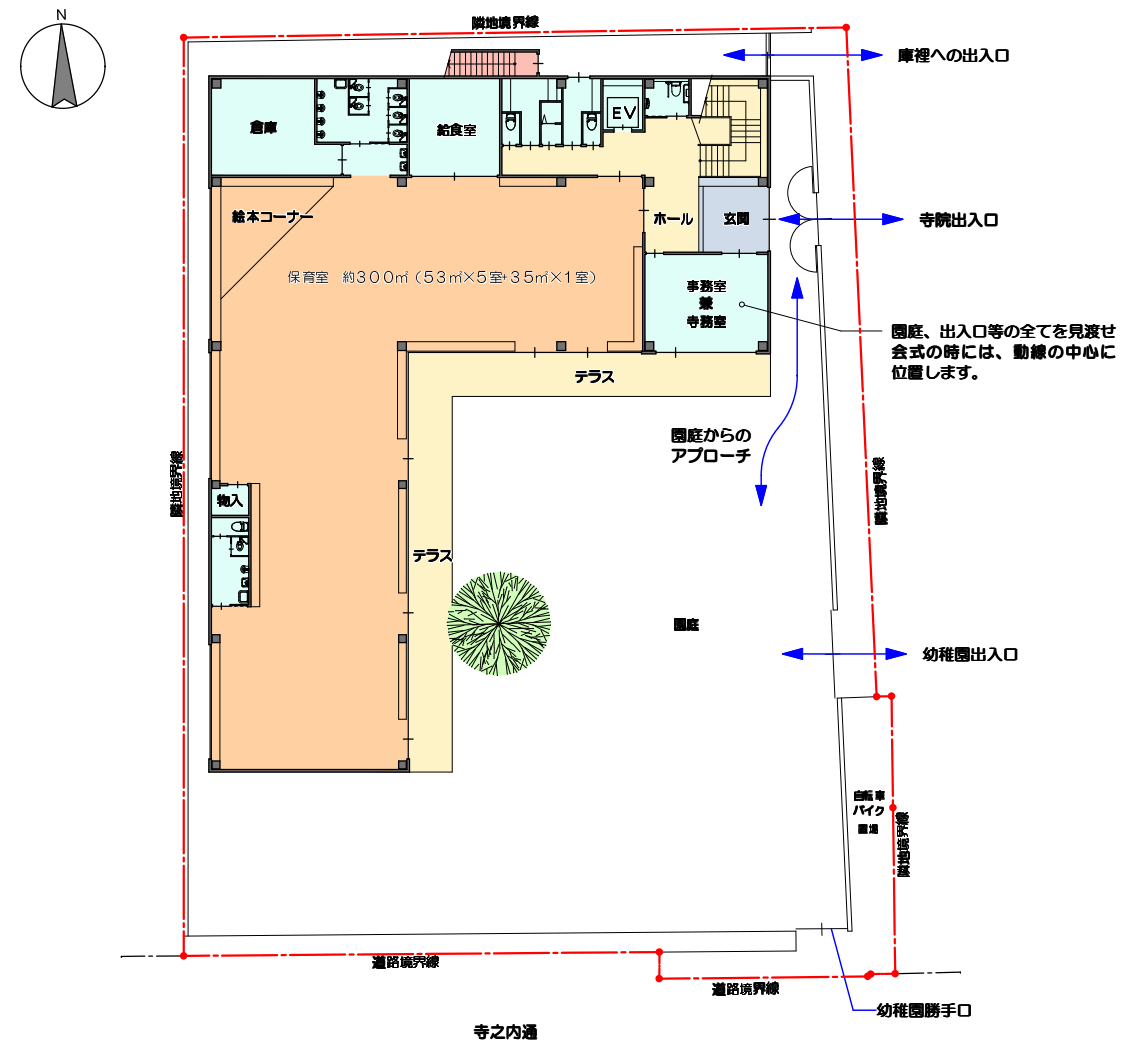


(仮称) 久本院及び、学校法人ほとけの子学園 園舎改築工事



□1階平面プラン□

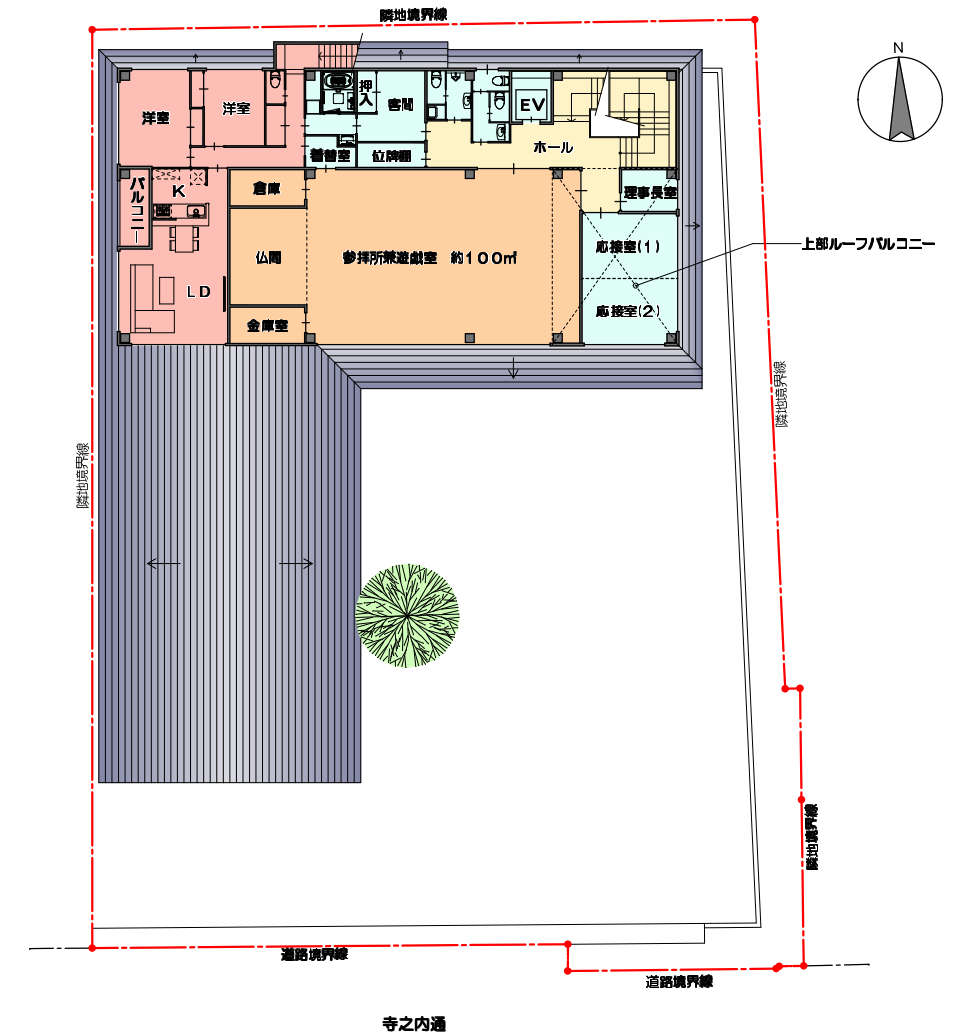
- 西面北面のL型1棟配置とします。そうする事によって、工程表にある通り2期に分けて工事をする必要がなくなり、工事工程の短縮が図れます。又、有効に一体利用出来る園庭範囲の拡大、保育時間内の日照確保、事務室からの園庭や出入口の見渡しが出来る等、多くのメリットを享受出来ます。
- 幼稚園への出入口、寺院への出入口、庫裡への出入口をそれぞれ確保する事で効率の良い使い勝手、プライバシーの確保を図ります。
- L型保育室の中心に、絵本コーナーを設けます。床を一段上げる事により、発表会にも使える表現の場とします。

木質仕上のイメージ



□2階平面プラン□

- 園庭を見渡せる中心に参拝所兼遊戯室を配置します。その廻りに諸室を配置し、効率の良いプランとします。西側に庫裡スペースを設け、プライバシーの確保と同時に園庭の影響を受けない位置へのバルコニー設置等快適性を追及します。
- 東側にルーフバルコニーを設け 送り火参拝に利用していただきます。



□天真爛漫 遊名人の為に□

秀吉によって移築されたお寺の町 寺之内通りにおいて 創立65年を迎える寺之内幼稚園。
過去には 外護を受けた茶屋四郎次郎の32基のお墓を大切に守り続ける 仏教精神を基に
体験型保育を実践する寺之内幼稚園。

今回の建て替えに際して 保育目標である 「自立」「つながり」「命の大切さ」を
これからも末永く受け継いで実践して頂く為に 「祖先の継承」「平和」「ぬくもり」を
町並みと調和したデザインの中に求め 未来の遊名人がすくすくと育つ場を提案します。

©B&C Documents and Settings\kum AOデザイン\寺之内幼稚園\02\06.00

□その為に□

大きく連続した保育室を確保する為に 大きな空間を確保し易い 鉄骨造とします。
全ての保育室は大きな開口を介して園庭に向き 太陽の光をたっぷりと吸い込む事が出来ます。
内装材には可能な限り 木質材などの自然素材を使います。
そうする事によって シックハウス対策はもちろん 園児の情緒の安定化にも寄与します。
西面にも開口を設け 自然な通風の確保 断熱性能の確保により光熱費の抑制にも配慮します。

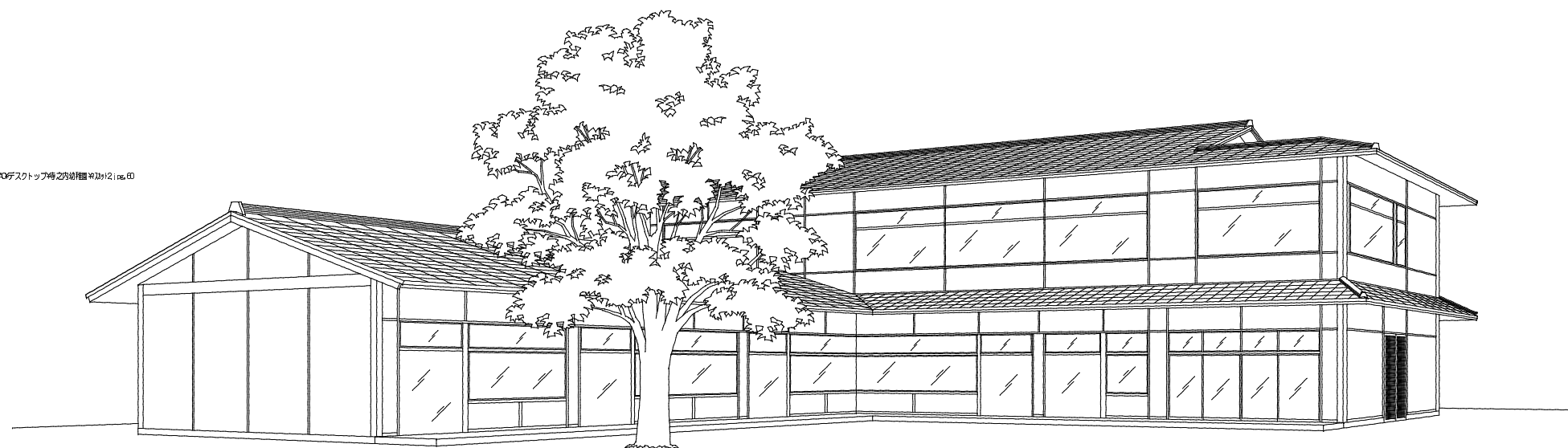
©B&C Documents and Settings\kum AOデザイン\寺之内幼稚園\02\06.00

□教育と関連する木材の良さ□

温かい 柔らかい 明るい 歩きやすい
適度な音の反響 心地よいにおい 調湿性
気持ちが落ち着く 等々
また 磨けば光る 大切にすれば長持ちする
乱暴に扱っても傷みやすい という面から
園の「大切にしている心」を育てる為に
可能な限り採用したいと考えます。

□対応が必要と思われる事□

- 工事中の園庭が狭い。
- 既存遊具を一部移動 及び再製作。
- 一部既存樹木の撤去。
- ブドウ棚 キウイ棚は移植して DNAを受け継ぐ。



外観イメージパース

